

旭川市男女共同参画審議会 令和3年度第1回（第51回）会議の記録

日時	令和3年10月5日（火）18時30分～19時30分
場所	旭川市6条通9丁目 旭川市総合庁舎議会棟2階 第4委員会室
出席者	委員7名 青山委員，五十嵐委員，工藤委員，嶋崎委員，谷委員，橋田委員， 羽柴委員（五十音順） 事務局3名 佐藤総合政策部長，今男女共同参画担当課長，大川主査
欠席者	熊谷委員，後藤委員，常委員，西澤委員（五十音順）
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴の数	0名
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1 旭川市男女共同参画審議会委員名簿 ・ 資料2 「あさひかわ男女共同参画基本計画」令和2年度主要施策実施状況報告書（案） ・ 資料3 「あさひかわ男女共同参画基本計画」数値目標達成状況 ・ 資料4 「第2次あさひかわ男女共同参画基本計画」評価指標一覧 ・ 資料5 第1次計画における未達成数値目標の第2次計画への引継状況 ・ 資料6 令和3年度実施事業 ・ 当日配付資料
会議内容	
1 開会	
総合政策部長 （挨拶）	<p>本日は，御多忙のところ旭川市男女共同参画審議会に出席いただき，感謝申し上げます。また，日頃から，様々な立場で男女共同参画の推進に御尽力いただき，厚くお礼申し上げます。</p> <p>昨年度に延べ4回の審議の上，答申いただいた「第2次あさひかわ男女共同参画基本計画」は3月に無事策定することができた。委員の熱心な議論や，いただいた多くの意見を計画に反映できたものと考えており，改めてお礼を申し上げます。</p> <p>御承知のとおり，新型コロナウイルス感染症により，DV件数の増加や，女性の雇用悪化などの影響がみられ，また，「生理の貧困」や「夫婦別姓」，「男性の育児休業」など，男女共同参画に関連する話題が注目される頻度が増えており，SDGsの普及とともに様々な課題が顕在化している。</p> <p>本日の審議会に先立って，市の関係部長が出席する男女共同参画推進本部会議を開</p>

	<p>催した。今回は試行的な取組として、男女同数の構成とするため、会議に各部局の女性職員も参加し、女性職員のモチベーションを上げる必要性や研修の充実、休暇の取得しやすい職場づくりの重要性など、女性の立場から具体的な発言があり、男女共同参画の推進における様々な意見や課題について、関係部長とも共有した。</p> <p>また、市長からも男女共同参画に対する指示が出ており、市も変化していくこととなる。</p> <p>本日御審議いただく令和2年度の主要事業実施報告書は、前計画の最終年度として、最終的な数値目標の達成状況などを報告するものであり、各委員には忌憚のない意見をお願いしたい。</p> <p>今回をもって第9期として最後の審議会となる。この2年間、コロナ禍という大変な状況の中で御審議いただき、重ねて感謝を申し上げる</p>
事務局からの報告	
事務局	<p>(次の2点について報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴木委員が令和3年8月31日をもって退任したことについて報告。 ・出席者7名、欠席者4名につき、会議の開催要件を満たしていることを報告。
3 議題	
(1)「あさひかわ男女共同参画基本計画」令和2年度主要施策実施状況報告書(案)について	
会長	(1)「あさひかわ男女共同参画基本計画」令和2年度主要施策実施状況報告書(案)について、事務局から説明をお願いする。
事務局	<p>(次の内容について、資料に基づき説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付資料の確認後、資料2に基づき、「あさひかわ男女共同参画基本計画」令和2年度主要施策実施状況報告書(案)について、作成経過と今後の公表の流れ、報告書の構成を説明。 ・資料3に基づき、「あさひかわ男女共同参画基本計画」の17項目の数値目標の達成状況を説明。 ・資料4、資料5に基づき、「あさひかわ男女共同参画基本計画」における最終的な数値目標未達成の項目について、「第2次あさひかわ男女共同参画基本計画」への引継ぎ状況を説明。
会長	<p>ただ今、事務局から説明があった令和2年度主要施策実施状況報告書(案)は、本日の審議を踏まえ、報告書を決定することとなる。</p> <p>この報告書(案)について、何か意見、質問等があれば発言をお願いする。</p>
委員	<p>新聞に地方防災会議について、女性委員が増えていないとの記事が出ていた。防災会議は災害時の避難所運営などの検討を進める組織だと思うが、女性の視点は大切に、阪神淡路大震災の時は性被害の問題や、男性が避難所運営責任者の場合、生理や授乳</p>

	<p>など女性特有の問題に対して理解不足だったことから、多くの女性が精神的に辛かったとのこと。</p> <p>道内では旭川市が1位だが北海道が全国45番目という記事を見て、様々な面において行政、地方自治体の活動には女性の視点が必要であり、附属機関の女性委員の割合を増やす必要があることを認識した。</p>
事務局	<p>この審議会で審議いただいた「第2次あさひかわ男女共同参画基本計画」においても防災を項目立てたことを受け、先ほど説明のあった男女共同参画推進本部会議において、今年から防災安全部長を構成員に加えて、審議を行っている。</p> <p>これからも防災活動に女性の視点を入れる取組を進めていく。</p>
委員	ぜひ、旭川市の女性管理職の割合を高くしてほしい。
会長	他、質問等あるか。なければ、この案で決定してよろしいか。
委員一同	了承
会長	決定した報告書は、後日公表する。
(2) 令和3年度実施事業について	
会長	次に議題(2) 令和3年度実施事業について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料6に基づき、政策調整課男女共同参画担当が令和3年度に実施する事業について説明)
会長	ただ今、事務局から説明があった令和3年度実施事業について意見、質問等があれば発言をお願いします。
委員	(意見、質問なし)
会長	では、引き続き、普及啓発などの取組を進めるようお願いします。
(3) その他	
会長	次に議題(3) その他について事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>(次回の審議会について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の審議会は11月の委員改選後の開催を予定。 ・委員改選後のため、第2次旭川男女共同参画基本計画の概要説明や委員の紹介を予定。
会長	今回をもって第9期として最後の会議となるため、本審議会に参加した感想や男女共同参画に対する思いなど、各委員から一言ずつお願いします。
委員	教員として社会科を担当していたことから、男女共同参画社会について、法律や人権を子ども達に伝える機会が多かったが、本審議会を通じて、改めて市の男女共同参画に関する計画や取組を確認した。教職員の研修はもとより、小さい頃から男女平等の意識を高める取組が必要であると感じ、また、自分自身も改めて学ぶ必要があると感じた。
委員	初めて審議会という場に参加し、男女共同参画について学んだ。自分自身は昔の教育で育ってきたので、今の20代、30代、40代は夫婦であっても人間同士が支え

	<p>という男女共同参画の意識があり羨ましいと感じるが、高齢者となると、これまでの積み重ねから意識を変えるのは難しい。</p> <p>他の委員から話があったとおり、小さい頃からの教育は重要だと思うし、今の20代、30代に男女平等の意識を持ってもらうことも、これからの社会には大切なことだと考える。私自身、男性女性の枠にとどまらず、人間同士として支え合うことが必要であると常々感じている。</p>
委員	<p>2期目を終えるが、毎回勉強させてもらいながら参加している。弁護士会でも男女共同参画については問題意識を持っており、役員の女性割合を増やしたいが、そもそも女性弁護士の割合が増えない現状があり、教育の問題、社会全体の問題につながってしまう。なかなか解決策が見つからず、報告書の状況と同様であると感じた。</p> <p>また、自身が所属する「両性の平等に関する委員会」の名称を「性の平等に関する委員会」に改めた。性の多様性の問題が注目を集めるなかで、多様性の重視について議論があり、変更したものである。</p>
委員	<p>今回で3期目を終える。市民委員会連絡協議会の女性部では、63地区の各市民委員会から女性部長を選出してもらっているが、地域によっては高齢化などにより女性部長を出せず、男性の会長の場合もある。女性部が担当している女性検診などの集約は、男性の会長に提出しにくいなどの声も出ているが、男女共同参画の視点で考えると、今後は女性部そのものの存続が難しいと感じることがある。</p> <p>また、身近にDV経験者がいたことがあり、DVは身近に起こりうるもので、珍しいケースではないと感じた。</p> <p>私自身、他の附属機関にも参加しているが、男性が多く、女性が発言しにくい場面もあるようである。審議会に参加させていただいたことに感謝している。</p>
委員	<p>普段は総務部長という立場で、男女共同参画については、ワーク・ライフ・バランスの推進や人権、女性管理職を増やすことに携わっている。生命保険会社ということで、営業職はほぼ女性だが、会社全体としての女性管理職の割合は約30%である。15年前ぐらい前から各部署のリーダーに女性を登用することで、女性管理職の増加につなげており、より高い目標達成のため、社内に女性活躍委員会を設置している。</p> <p>人権やLGBTに関する研修を行うこともあり、今後は仕事を通じて男女共同参画などの普及に取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>今回で3期務めたが、普段はウィメンズネット旭川で様々な相談を受けており、20年以上従事している。設立時には、女性が真にいきいきと生きていける社会の確立を目指すということで始めたが、今は女性だけではなく、人としていきいきと人生を送れることが重要と考えている。DV防止法など、制度は少しずつ整ってきており、国や自治体の取組もあって、ウィメンズネット旭川自体の活動は行いやすくなってきたが、他の委員の話のとおり家庭における男女の意識は、設立時から大きく変化していないと実感している。いまだに若い夫婦の相談を受けても、高齢夫婦と同様の相談</p>

	内容の場合もあることから、教育は重要と考える。現在は高校でDVに関する出前講座を実施しているが、中学校でも実施してほしい。
会長	本日予定の議事は終了したので事務局に交代する。
事務局	最後となるが、会長から委員の皆様一言挨拶をお願いする。
会長	<p>副会長、各委員には、御多忙の中、様々な意見や議論をいただき感謝申し上げます。もっと議論をすることができればより良い会議になったと思うと、コロナ禍であったことを残念に思う。</p> <p>男女共同参画と言われて久しい気もするが、この審議会が第9期であることを考えると、まだまだ短い歴史であると感じた。</p> <p>コロナ禍という点では、外出制限や在宅勤務、休校を受けた女性の家事負担の増加、ストレスからDV件数が増加したというニュースが多く出た。普段学生に接していても、子どもでもない、大人でもない世代でも虐待を受けるという話を聞き、特に女子が訴える機会を見ると、課題は多くあると感じる。</p> <p>また、非正規雇用者の増加でも、特に女性の割合が多く、女性の貧困問題も考える必要があると感じた。</p> <p>同時に、ジェンダーギャップ指数や政治家による女性蔑視発言の問題など、この任期中にはネガティブな話題が多かったが、その中で良い点を見出すとすれば、学生が男女共同参画やジェンダー問題を、しっかりと認識するようになったことである。</p> <p>関心の高まりが、課題解決への足掛かりにつながると感じている。</p> <p>今般、計画策定に携われたことは、私自身にとっていい勉強となったし、今後もジェンダー平等に向けて考えていきたい。</p> <p>様々な課題と向き合い、この計画策定の節目でもあったこの2年間に会長として勤めることができたのは、各委員の多大なる協力があったからこそだと感じている。</p> <p>各委員には、今後も引き続きそれぞれの立場から、男女共同参画の推進に力を貸していただければと思う。</p> <p>最後になるが、皆様のこれまでの御尽力に対して心よりお礼を申し上げますとともに、御健勝、御活躍を祈念し、お礼の挨拶とさせていただきます。</p>
4 閉会	
事務局	以上で本日の審議会を終了する。